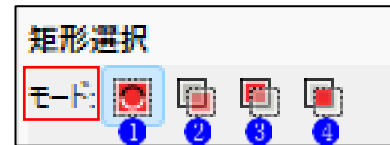


## [ツールオプションのモード]

### 1 選択関連ツール共通の[モード]の種類

選択関連ツール共通のオプションとして[ツールボックス]の[モード]があります。[モード]には4種類用意されており、切り替えることで右表のような効果があります。

標準状態は①の[選択範囲を置換]です。通常はこの[モード]にしておきます。[モード]は各ツールごとに設定します。



モード名	使用目的
① [選択範囲を置換]	既存の選択範囲を解除し、新たに選択範囲を作成する（初期設定の状態）
② [選択範囲に加える]	既存の選択範囲に、これから作成する選択範囲を加えた範囲が選択範囲になる。
③ [選択範囲から引く]	既存の選択範囲から、これから作成する選択範囲を引いた範囲が選択範囲になる。
④ [選択範囲との交わり]	既存の選択範囲と、之から作成する選択範囲で重なる範囲が選択範囲になる。

### 2 選択範囲を追加する

① サンプルデータを開き、[ツールボックス]の[矩形選択]をクリックします①。



② 元にする選択範囲を作成します②。

選択範囲内でクリックするか Enter キーを押して選択範囲を確定します。



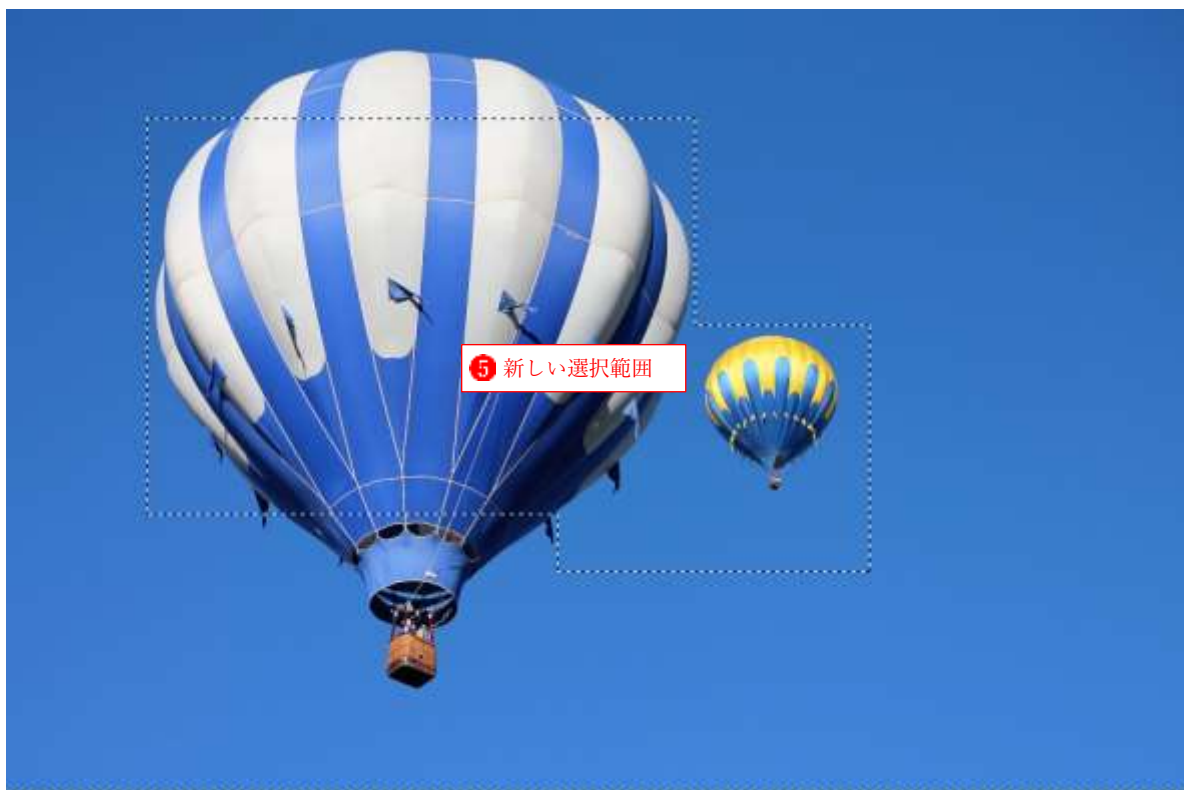
- ③[ツールオプション]ダイアログの[モード]で、  
[選択範囲に加える]③をクリックします。



- ④追加する選択範囲を作成します④。  
Enter キーを押して選択範囲を確定しま  
す。



- ④あとから作成した範囲が追加された選択範囲になりました⑤。



- ✚ 元の選択範囲と、あとから作成する選択範囲は、異なるツールで実行しても追加できます。  
この場合、あとから選択範囲を作成するのに使用するツールの[モード]を設定します。

### 3 選択範囲を部分削除する

- ① サンプルデータを開き、[ツールボックス]の[矩形選択]をクリックします❶。
- ② [ツールオプション]ダイアログの[モード]で、[選択範囲を置換]をクリックします❷。



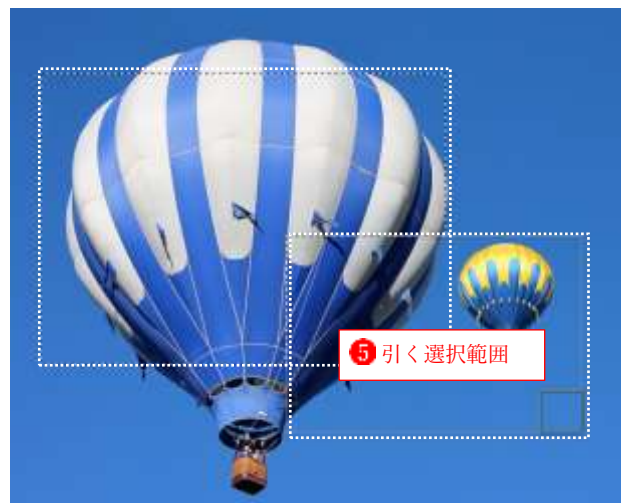
- ③ 元にする選択範囲を作成します❸。  
Enter キーを押して選択範囲を確定します。



- ④ [ツールオプション]ダイアログの[モード]で、[選択範囲から引く]をクリックします❹。



- ⑤ 部分削除したい範囲を作成します❺。



⑥Enter キーを押して選択範囲を確定すると、後から作成した範囲が引かれた選択範囲になります**⑥**。



- ✚ [モード]を変更すると、その設定が以降に残ります。このため選択範囲を作成する際は、必ず[モード]の状態を確認してから実行しましょう。
- ✚ [選択範囲との交わり]モードを使った作業も操作方法は同じです。[選択範囲の交わり]を使うと、既存の選択範囲とこれから作成する選択範囲とが重なる範囲が選択範囲になります。

### Step Up [モード]をキー操作で変更する

選択関連ツールのオプションの[モード]は、キーボードのキーを押しながら操作することでも切り替えられます。この方法では、選択範囲を作成するたびに現在の[モード]の状態を確認する必要がなくなり、切り替える必要もなくなります。

頻繁に[モード]を切り替える必要があるときに便利です。キー併用操作をする場合は、[モード]を[選択範囲を置換]に設定しておきます。

モード名	使用するキ～
① [選択範囲を置換]	(この[モード]に設定しておくので、キーを併用しない。)
② [選択範囲に加える]	Shift キー
③ [選択範囲から引く]	Ctrl キー
④ [選択範囲との交わり]	Shift キー+Ctrl キー